

23. 外が暑いことを話す

001B : ヨーイ。カエッタヨー。

おーい。帰ったよ。

002A : ハーイ オカエンナサーイ。

はーい お帰りなさい。

003B : イヤイヤ。コーミンカンノヒヤー レーボー キーデヤンダゲットモッサ、ナント
いやいや。公民館の部屋 冷房 効いていたんだけどもさ、なんと

ソドサ デダ ト トタンニー ノボセアカ° ルヨダッタ。

外に 出た × 途端に のぼせあがるようだった。

004A : アー キョーネー インナガモ アズクテー オドケデネー [1]

あー 今日ね 家の中も 暑くて とんでもなく

アズガッタデバ。

暑かったってば。

005B : アー ソーガー。ブンゲ [2] ダッタオナー。

あー そうか。 ことのほかだったもんな。

006A : ンーダネー。

そうだね。

[1] オドケデネー

「おどけ（戯）でない」。冗談では済まされないほどたいへんだの意。

[2] ブンゲ

「分外」。思いのほか、ことのほかなどの意。